

【会議記録－令和5年11月17日－20231117－5－議会改革検討会議】

1 開催日時 令和5年11月17日（金）11時05分～11時27分

2 開催場所 議会中会議室

3 出席者

(1) 出席議員

座長 あらい 絹世

委員 山本 哲、芥川 薫、ます 晴太郎、米村 和彦、菅原 あきひと
佐藤 けいすけ、野内 みつえ、鈴木 ひでし、添田 勝

(2) 議会局出席者

局長 浦邊 哲、副局長兼総務課長 高瀬 正明

管理担当課長兼総務課副課長 佐藤 徹、経理課長 奥澤 陽一

参事兼議事課長 井上 実、政策調査課長 林 弘幸

4 議事

議会のデジタル化について

はじめに、議会改革検討会議で検討を進めることとした請願書、陳情書及び政務活動費に係る手続を除いたオンライン化が可能となった手続について、資料1－1により検討にあたっての基本的な考え方や、総論としての議会の手続に係るオンライン化へ向けた検討の考え方について、説明があった。また、資料1－2により各論として、各例規に定めのある手続についてオンライン化の可否や課題について説明があった。

併せて、資料2－1から2－5のとおり、全国都道府県議長会から標準会議規則の改正案等が送付されたことについて周知された。

(質疑概要)

(ます委員) 議案等をデータで配布する場合の見やすい工夫とは、具体的にはどんなことを想定しているのか。

(政策調査課長) チェック時にメモを入れたりなどができ、見る側が使いやすいようなことを想定している。

(佐藤委員) オンライン化の方法については、今後、示されているものから選ぶようなことを想定しているのか。

(政策調査課長) そのとおりである。資料1－2の備考欄に想定しているオンライン化の方法を示しているため、ご覧いただけたらと思う。

(鈴木委員) 要望として、マイナポータルについて、可用性等の検証をしっかりとっていただきたい。また、これも要望として、見やすい工夫だけでなく、PDFファイルをワード化するなど、利便性の向上が図れるツールの色々な例を示していただきたい。

資料1－2については、各会派持ち帰りの上、検討し、次回の議会改革検討会議で協議することとなった。

次に、やさしいデジタル化の実現に向けた方策の検討を進めるに当たり、資料3により、議会局から課題等が説明された。

以上